



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 東
コード番号 6633 URL <https://www.cgsys.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 聖一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 小島 利幸 (TEL) 03(6864)0777
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,803	△5.6	108	△22.4	156	△22.0	93	△10.2
2023年12月期第3四半期	2,968	△10.9	140	△65.4	200	△56.1	103	△61.0

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 143百万円(△15.8%) 2023年12月期第3四半期 170百万円(△54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	9.80	—
2023年12月期第3四半期	10.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5,856	3,160	53.5
2023年12月期	5,584	3,126	55.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 3,133百万円 2023年12月期 3,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,801	△0.6	127	40.5	200	32.8	120	75.8	12.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	9,801,549株	2023年12月期	9,801,549株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	300,182株	2023年12月期	300,182株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	9,501,367株	2023年12月期3Q	9,501,367株

※ 当社は、取締役(社外取締役および監査等委員である取締役を除く)を対象とする株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9
(追加情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

[当第3四半期連結累計期間の経営成績]

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、中東地域をめぐる情勢やウクライナ情勢等の地政学リスクから経済的影響が注視されるとともに、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、海外景気の下振れリスクなどにより依然として先行き不透明な状況が続いております。また当社製品需要との関係が深い金型関連業界は、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計によれば、内需において設備投資に対する企業の慎重姿勢が続いていることから回復が遅れ前年同期実績を下回る状況で推移するなど全体的に持ち直しの動きに停滞が見られました。

このような状況下、当社グループにおけるCAD/CAMシステム等事業では、当第3四半期の製品販売が若干持ち直したものの、EVシフトの方向性が依然として不透明であったことから、主な利用先である自動車向け金型・部品製造業での金型および部品生産が引き続き低調に推移し、設備投資を抑制したことがCAD/CAMシステムの販売に影響しました。また金型製造事業においては、新たな顧客開拓を目指し来期以降の売上につなげるための活動を行ってまいりましたが、2023年下期以降の受注量減少に伴い業績が低調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、金型製造事業の売上減少割合が大きかったことから、売上高は28億3百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業利益は1億8百万円（前年同四半期比22.4%減）、経常利益は1億56百万円（前年同四半期比22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円（前年同四半期比%10.2減）となりました。

事業セグメント別の概況は以下のとおりです。

CAD/CAMシステム等事業

CAD/CAMシステム等事業における製品販売は、前述の通り、自動車向け金型・部品製造業の設備投資抑制が影響し伸び悩みましたが、OEM開発売上および一部既存OEM先へのライセンス売上は堅調に推移しました。一方海外は、製造業での輸出が回復傾向にあるベトナムでは売上が伸長したほか日系自動車関連の需要回復が遅れていたタイにおいて持ち直しの動きが見られました。

保守売上は、既存顧客に対する充実したサポートを提供することにより、国内海外ともに引き続き高い保守更新率を維持し、収益に貢献しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のCAD/CAMシステム等事業の売上高は25億81百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は1億46百万円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

なお第4四半期以降もEVシフトの動向、原材料高騰等の間接的な影響も依然として懸念されますが、自動車関連市場、半導体市場の回復を背景に緩やかな回復基調で推移するものと思われます。

金型製造事業

当社の金型製造子会社が拠点を置く北米の自動車業界では、EV計画の見直しにより延期されていた新機種開発が第2四半期以降進み始めたことから受注環境は引き続き改善傾向にあります。しかしながら2023年下期以降の受注状況が低調に推移したことが影響し前年同四半期連結累計期間との比較では大幅な減収減益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の金型製造事業の売上高は2億21百万円（前年同四半期比46.1%減）、セグメント損失は37百万円（前年同期は24百万円の利益）となりました。

なお新機種開発の再開に伴い来年度に売上計上予定の金型の需要回復が予想されることから、業績は第4四半期以降、上向いていくものと見込んでおります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度と比較して2億72百万円増加し、58億56百万円となりました。主な増加要因は受取手形、売掛金及び契約資産75百万円、電子記録債権79百万円および投資有価証券66百万円です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度と比較して2億38百万円増加し、26億96百万円となりました。主な増加要因は、買掛金57百万円、契約負債1億43百万円および賞与引当金52百万円です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度と比較して34百万円増加し、31億60百万円となりました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加93百万円およびその他有価証券評価差額金49百万円、主な減少要因は配当金の支払いによる利益剰余金の減少96百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日(2024年11月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,807,529	2,801,258
受取手形、売掛金及び契約資産	266,556	342,422
電子記録債権	216,816	295,980
棚卸資産	36,272	20,313
その他	218,799	286,316
貸倒引当金	△184	△250
流動資産合計	3,545,789	3,746,041
固定資産		
有形固定資産	355,417	329,673
無形固定資産	25,736	14,758
投資その他の資産		
投資有価証券	249,747	316,108
投資不動産（純額）	358,543	354,074
保険積立金	557,159	603,530
その他	496,373	497,167
貸倒引当金	△4,537	△4,537
投資その他の資産合計	1,657,287	1,766,343
固定資産合計	2,038,442	2,110,776
資産合計	5,584,231	5,856,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,153	106,353
未払法人税等	13,660	62,235
賞与引当金	-	52,103
契約負債	794,533	937,750
その他	219,133	151,198
流動負債合計	1,076,481	1,309,641
固定負債		
役員株式給付引当金	24,800	28,814
退職給付に係る負債	1,117,934	1,129,160
その他	238,735	228,661
固定負債合計	1,381,470	1,386,636
負債合計	2,457,952	2,696,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	125,000	125,000
利益剰余金	2,357,329	2,354,382
自己株式	△117,889	△117,889
株主資本合計	2,864,440	2,861,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,358	170,955
為替換算調整勘定	88,253	100,608
その他の包括利益累計額合計	209,612	271,563
非支配株主持分	52,227	27,483
純資産合計	3,126,279	3,160,539
負債純資産合計	5,584,231	5,856,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,968,389	2,803,405
売上原価	1,028,007	926,844
売上総利益	1,940,381	1,876,561
販売費及び一般管理費	1,799,974	1,767,597
営業利益	140,407	108,964
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,996	9,928
不動産賃貸料	73,736	73,766
保険解約返戻金	25,962	-
その他	11,550	10,725
営業外収益合計	117,246	94,419
営業外費用		
支払利息	815	183
不動産賃貸費用	55,096	46,709
その他	1,410	330
営業外費用合計	57,322	47,222
経常利益	200,331	156,161
税金等調整前四半期純利益	200,331	156,161
法人税、住民税及び事業税	106,295	97,915
法人税等調整額	△21,985	△22,521
法人税等合計	84,310	75,393
四半期純利益	116,021	80,767
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,441	△12,298
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,580	93,066

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	116,021	80,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,715	49,596
為替換算調整勘定	47,146	13,542
その他の包括利益合計	54,861	63,139
四半期包括利益	170,882	143,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,846	155,017
非支配株主に係る四半期包括利益	19,036	△11,110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
ソフトウェア	665,956	—	665,956	—	665,956
ハードウェア	117,226	—	117,226	—	117,226
初年度保守	168,050	—	168,050	—	168,050
更新保守	1,351,519	—	1,351,519	—	1,351,519
その他サービス	189,458	—	189,458	—	189,458
受託開発	64,672	—	64,672	—	64,672
金型請負	—	411,506	411,506	—	411,506
顧客との契約から生じる収益	2,556,883	411,506	2,968,389	—	2,968,389
外部顧客への売上高	2,556,883	411,506	2,968,389	—	2,968,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,556,883	411,506	2,968,389	—	2,968,389
セグメント利益	116,065	24,341	140,407	—	140,407

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計		
売上高					
ソフトウェア	704,822	—	704,822	—	704,822
ハードウェア	112,800	—	112,800	—	112,800
初年度保守	151,640	—	151,640	—	151,640
更新保守	1,376,661	—	1,376,661	—	1,376,661
その他サービス	171,338	—	171,338	—	171,338
受託開発	64,536	—	64,536	—	64,536
金型請負	—	221,606	221,606	—	221,606
顧客との契約から生じる収益	2,581,799	221,606	2,803,405	—	2,803,405
外部顧客への売上高	2,581,799	221,606	2,803,405	—	2,803,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,581,799	221,606	2,803,405	—	2,803,405
セグメント利益又は損失(△)	146,102	△37,138	108,964	—	108,964

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産および投資不動産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	52,599千円	48,198千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(追加情報)

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、社外取締役および監査等委員である取締役を除く取締役（以下、「対象取締役」という。）の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、対象取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、対象取締役に対する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入しております。

(1) 本制度の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下、「本信託」という。）が当社株式を取得し、当社が対象取締役に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて対象取締役に対して交付される株式報酬制度です。なお、対象取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として対象取締役の退任時です。

また、上記の当第3四半期連結会計期間末の負担見込額については、「役員株式給付引当金」として計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度32,773千円、100千株、当第3四半期連結会計期間32,773千円、100千株であります。